



令和7年
8月23日(土) 24日(日)

交通規制マップと駐車場のご案内

時間帯	
8/23(土)	17:00~22:00 17:30~19:30
8/24(日)	17:00~22:00 17:30~19:30 17:30~19:30



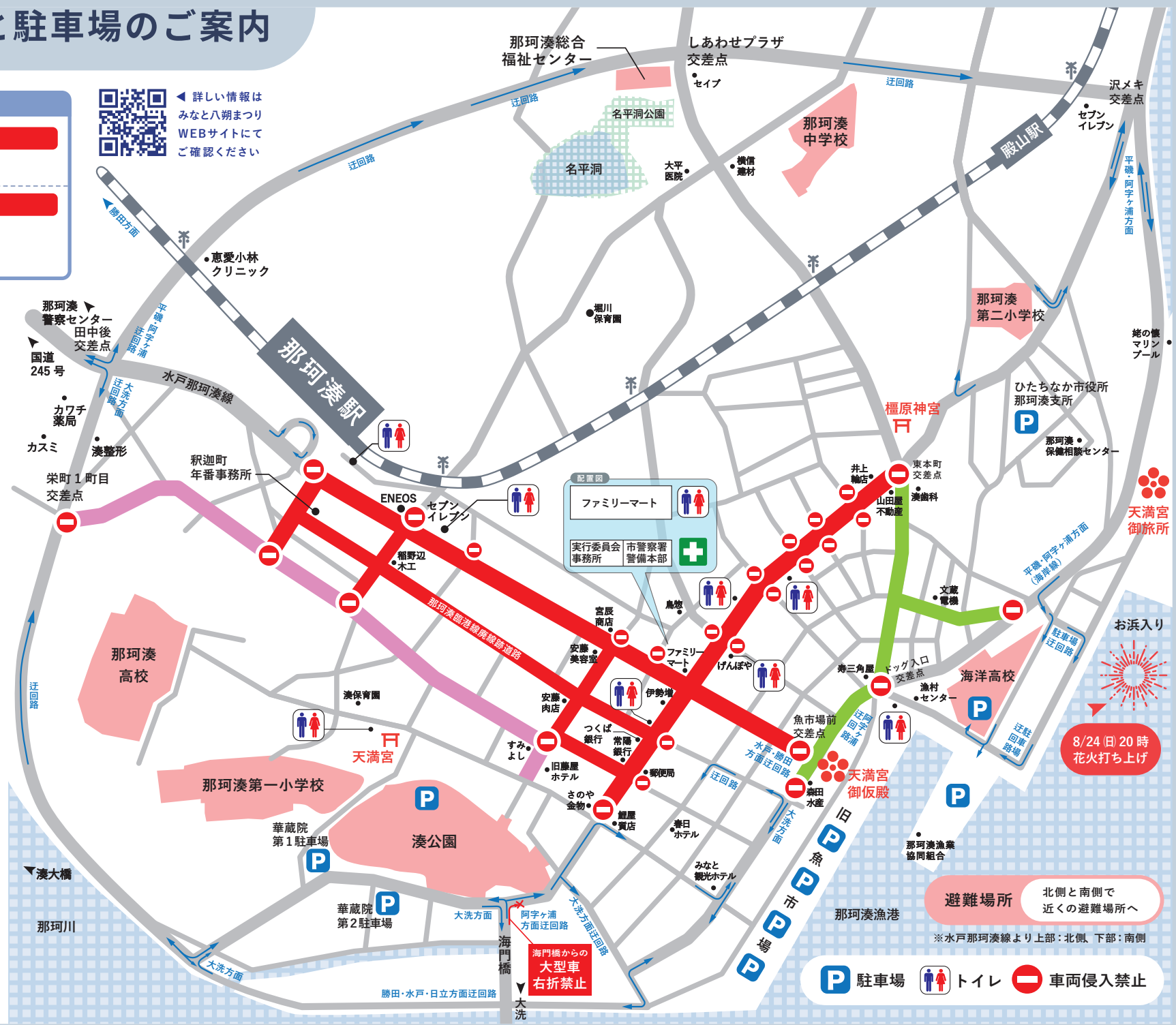
詳しい情報は
みなと八朔まつり
WEBサイトにて
ご確認ください

注意事項

- 交通規制の日時・区域に違反した場合は、法による処罰の対象となります。
帰宅時間・お出かけの予定のある方は、規制内容をご理解のうえご協力をお願いいたします。
臨時駐車場のご利用をおすすめいたします。
- 道路は駐車禁止です

- 駐車場について
- 湊公園 駐車場
 - 華蔵院第1駐車場
 - 華蔵院第2駐車場
 - ひたちなか市役所那珂湊支所 臨時駐車場
 - 旧魚市場 臨時駐車場
 - 那珂湊漁業協同組合 臨時駐車場
 - 海洋高校 臨時駐車場

当日は交通規制で通行できないエリアがあります。お越しの際には公共交通機関「ひたちなか海浜鉄道湊線」のご利用をおすすめいたします。



令和6・7年度 伝える、結ぶ、広がる“茨城のおまつり”に選定

那珂湊天満宮御祭禮

みなと八朔まつり

アクセス

JR 常磐線（勝田駅）－ひたちなか海浜鉄道湊線（那珂湊駅）下車

お浜入り見物のための湊線 臨時列車 8.24(日) 4:55 勝田駅発 — 5:10 那珂湊駅着

ご案内

- 救護所** 実行委員会本部テント内（ファミリーマート湊本町店駐車場内）
- 休憩所** 茨城県信用組合湊支店 駐車場内 60 席程度、他各所

お楽しみポイント 01
お浜入り
8.24(日) 6:00~
天満宮御仮殿～天満宮御旅所
大漁の掛け声とともに御神輿が海に入る庄巻の場面に注目!!

お楽しみポイント 02
屋台パレード
8.23(土) 17:30～24(日) 18:00~
那珂湊駅前交差点～
那珂湊本町通り商店街 付近
今年は、12 町内の屋台とみろく、獅子が一同に会し練り歩きます！

お楽しみポイント 03
花火打ち上げ
8.24(日) 20:00 頃～
天満宮御旅所 先
特別花火打ち上げ！クライマックスの瞬間を屋台越しにご覧ください！

公式 HP にておまつり最新情報 3710839.com ▶▶
各町屋台 位置情報を発信中!!

ひたちなか祭り 主催：みなと八朔まつり実行委員会
協賛：ひたちなか商工会議所、ひたちなか市観光協会 | 写真提供：船越知弘 | デザイン：ヤナチ製作所 |

〈 問い合わせ 〉 TEL 090-1856-8206 （みなと八朔まつり実行委員会）

8.21 年番町お宮参り

年番町が天満宮・御旅所・檀園神宮参拝

8.22 例祭 於天満宮

各町役員が参列、例祭執行
神幸祭の各町供奉順を抽選、各町参列者が
お神酒を頂戴して順次退下
年番引き継ぎの儀(釈迦町から竜之口町へ引き継ぐ
責任役員・両宮元町立会い)
神霊奉遷の儀(御神輿にご神入れ)

8.23 神幸祭

9:00 各町の風流物が町渡しを開始(午後5時まで)
14:00 天満宮にて御神輿にお綱掛けの儀
(釈迦町若衆奉仕、両宮元町立会い)
各町の風流物が明神町に集合
17:00 各町の町印が明神町に集合
但し、六町目は獅子を出す
町印の行列が明神町を出発北水主町・
釈迦町を経て元町へ向かう、
17:30 続いて風流物の行列は、午後6時出発
天満宮にて神幸の祭儀
17:40 両宮元町によりお宮出し、釈迦町により
御中座を経て大鳥居内に奉安
17:50 大鳥居内にて両宮元町から年番町へ
御神輿を引き継ぐ
町印の行列は元町通りに到着、御神輿に
18:00 供奉して神幸行列となり直ちにご出発
【行列順】獅子六町目・年番町・御神輿・
責任役員・和町・抽選順に各町
【順路】御殿町・一町目本通り・龍之口海門橋際・
一町目下通り・二町目本通り・水門町・明神町・
泉町・四町目本通り・五町目本通り・六町目本通り・
七町目本通りを経て御飯殿(旧魚市場前)に至る
19:00 御神輿が御飯殿ご到着
町印の行列は、五・六・七町目の本通り・
和田町上通りを経て中通りに至る
19:20 町印の行列が和田町中通りを通過して解散
19:30 風流物行列の第一番目が七町目を通過、
各町の風流物は順次通過して町渡しを再開
(午後10時まで)

8.24 神幸祭

5:00 御飯殿にて御神輿にお綱掛けの儀(和田町奉仕)
年番町から和田町へ御神輿を引き継ぐ
6:00 御神輿がお浜入り(和田町奉仕)
10:00 御神輿がお腰掛け
(御旅所、和田町三町目)にお上がり祭儀
和田町から年番町へ御神輿を引き継ぐ
各町の風流物が町渡しを開始(午後5時まで)
10:40 御神輿がお腰掛けを出発、御飯殿に向かう
11:00 御神輿が御飯殿にご到着 御神輿を奉安して祭儀
14:00 御飯殿にて御神輿にお綱掛けの儀(釈迦町奉仕)

8.24 還幸祭

17:00 各町の風流物が和田町中通りに集合
17:30 各町の町印が和田町中通りに集合
但し、六町目は獅子を出す
17:50 御神輿が御飯殿を出発、和田町へ向かう
和田町中通りにて各町町印が御神輿に
18:00 供奉 還幸行列となり和田町をご出発
【行列順】年番町・御神輿・
責任役員・獅子六町目・和田町
【抽選順に各町順路】本通り七町目・六町目・五町目・
四町目・三町目・二町目・御殿町を経て元町に至る
還幸行列が元町通りにご到着
御神輿は天満宮に向かう
大鳥居内にて年番町から両宮元町へ
御神輿を引き継ぐ
釈迦町によりお宮入り
神霊奉遷の儀(本殿へご神遷し)
各町供奉員がお神酒頂戴
各町の行列が元町通りを出発、
釈迦町・北水主町を経て明神町へ向かう
町印の行列が明神町を通過、祭典終了
お浜入り会場先にて 特別花火打ち上げ
18:40 風流物行列の第一番町が三町目を通過
各町の風流物は順次通過して町渡しを再開
(午後10時まで)
19:00 印は花火打ち上げ 特別花火打ち上げ



元町みろく



六町目獅子



牛久保町



龍之口町



七町目



殿山町



和町



四町目



明神町



明神町



小川町



田中町



明神町



明神町

各町屋台
紹介



見どころ
その2

お浜入り

「天満宮御祭禮」では、天満宮をお出
ましになった神様は、「御飯殿」にて
お泊りになり、明朝6時、和田町の海岸
で、海に入る、これが「お浜入り」です。
那珂湊のお浜入りは、数百人の若衆に
担がれた御神輿が、海に入り、大勢の
観衆が見守る中、漁師町・港町である
那珂湊らしい手荒い歓待を受けます。

見どころ
その1

おまつりの始まり

「天満宮御祭禮」は、「浜下り祭」の
形式をとり、鎌倉時代に、海の中に
見つけた何かキラキラ光るものを天満宮
にお祀りし、地元の崇敬を集めたと
言い伝えられています。
神様は年に一度、神社からお出ましに
なり、海へお帰りになる。その後、町内を
一巡し神社へお戻りになる、それを町内
こぞでご案内し、また神社にお迎えし
ます。それが、この祭礼のストーリーです。
神様がお出かけになるのが「神幸祭」、
お帰りになるのが「還幸祭」です。

見どころ
その5

お囃子

大正時代の半ばから、現在の形の屋台
が主流になり、笛・鐘・太鼓に加え
三味線の入ったお囃子が八朔祭りの
特徴。祭り囃子として三味線が加
わったことが特徴といわれています。
お囃子の種類は、メインは「おっしや
い」「四丁目」「鎌倉」「とっぴき」
等約十曲、局面・状況によってアップ
テンポからスローテンポまで使い
分け、これも見どころのひとつです。

見どころ
その4

各町屋台

まつりの風流物として、豪華絢爛な
各町内の屋台も、多くの人を惹き
つける魅力のひとつです。令和七年は、
各町計十二台の屋台が出場予定です。

見どころ
その3

供奉行列

「供奉行列」は、御神輿に乗った神様を、
各町内がお供をし、町内を巡行します。
延べ千数百人に及ぶ、厳かな供奉行列
も見どころのひとつです。

およそ300年前から続き、
那珂湊住民によって
代々愛され続け、伝統を繋いできた、
格式高い神事「那珂湊天満宮御祭禮」
別名「みなと八朔まつり」
御神輿が海に入る「お浜入り」、
祭礼には「獅子」と「みろく」の
人形踊りや、きらびやかな各町内の
「屋台」が町内を練り歩きます。



悠久の美
三百年の歴史を誇る、

